

姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

ニュース

協会報

第 11 号

昭和63年11月1日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



国際青少年サッカー大会USA杯開会式の少年サッカーチーム

目次

- ミネアポリス市少年野球チームがスポーツで交流…………… P 2 ・ P 3
- 茨木市少年サッカーチーム3年連続してUSA杯に参加…………… P 4 ・ P 5
- ミネアポリス市・茨木市文化協会の紹介…………… P 5
- 茨木市民親善訪中団、友好都市・安慶を訪問…………… P 6
- オリーブの島小豆島内海町と姉妹都市…………… P 7
- 安慶市の変化、茨木市における国際交流の足あと…………… P 8

三市少年野球チームが スポーツで交流



市民体育館で1点を争う好ゲーム



友情の花が満開



市長杯争奪大会に参加



第2市民プールでの水泳交歓

ホームステイの思い出



陽気なアメリカ人

山手台六丁目 松尾 文子
陽気で、あけっぴろげ
で、いかにもアメリカ人

らしい2人の婦人が、訪れました。

彼女達は、ほとんど、部屋にこもらず、台所で、居間でと、常に誰かに話しかけようと心がけ、その何気ない会話の中にも、温かい心が感じられました。

一週間たらずのことでしたが、金銭であがなえない、素晴らしい宝物が、わが家の歴史に残りました。



アメリカ人の豊かな心に接して

穂積台 義若 幸代

このたび、ミネアポリスのお客様をお迎えすることになりました。

何にも言葉が話せない、単語を並べただけの英語と大変なことでしたが、日が経つほどに、心もうちとけ、楽しく過ごせるようになりました。

その中で感じたことは、アメリカの方たちの豊かな心でした。また、厳しい子供のしつけ方、何事にも無駄のない習慣には、頭が下がりました。

日本の豊かさを、もっともっと、意味のあるものにしたいと思います。

昭和57年から始まったミ市との少年野球チーム相互訪問は、今年で7年目を迎え、4回目の訪問となるミ市少年野球チーム19人は、今年もガーリー・ダウニング監督に率いられて、7月21日から8月2日まで茨木市に滞在しました。

雨天のため、3試合が流された後、25日からは新装の島3号公園で11の軟式・硬式の野球試合を行い、頭脳的なプレーを見せてくれました。

この他、タッチフットボール、バスケットボール、バレーボール、水泳などで交歓試合を行い、タッチフットボールでは、本場の素晴らしいパスワークをひろうしてくれました。

また、2晩にわたって、茨木フェスティバルに参加し、茨木の夏を一段と熱いものにしました。



ナイターのタッチフットボールで本場プレー



生活環境の違いにびっくり

庄一丁目 田辺 公一

去年、ミ市でホームステイして、今年はわが家が選手を

引き受けました。

ミ市では、少年達がよくコーラを飲む（1日で軽く5本）ことに感心し、茨木では、土足のまま家に上がったり、自動車の中で靴をぬぐことに生活環境の違いを知りました。

また、彼らは、写真やバッジなど、いろいろな物を家族に見せて、自分のプロフィールを細かく説明するのが、上手だと思いました。

経験しませんか

ホームステイ家庭

ミ市と姉妹都市提携以来、毎年、相互訪問があり、そのほとんどがホームステイのプログラムを持っています。

去年は、ミ市からの訪問者計56人が市内の家庭でホームステイし、茨木からの訪問者58人がミ市において、ホームステイしています。

「わが家でもぜひホームステイを」と希望される方は、協会事務局（市役所3階自治推進課）までお申し込み下さい。名簿に登録し、必要な時に連絡いたします。

なお、申込は、茨木市内の家庭に限らせていただきますのでご了承下さい。

あなたも協会会員に

募集

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際親善に熱意を持っておられる方々の入会を心からお待ちしています。

会員には、本市国際活動情報の提供や姉妹・友好都市交流行事へのご案内をいたします。

〈会費(年額)〉個人会員(一般) 2,000円
(学生) 1,000円

団体・法人会員 一口 5,000円

〈申込先〉協会事務局（市役所3階自治推進課
国際交流係 電話22-8121内線2143）

寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと、次の方々から温かいご寄付をいただきました。ご好意に心からお礼申し上げます。（5月～10月、敬称略）

〈協会へ〉7月・石瀬豊一（3万円）

〈市へ〉5月・住友信託銀行(株)茨木支店(80万円)、9月・(宗)弁天宗冥応寺(108万円)、阿佐建築工務(株)(100万円)



試合を決めた肉体・精神的弱点

チームリーダー 中見 秀夫

出発前には、昨年の成績(第三位)を上回ることを目標にしていたのですが、残念ながら、それは果たすことができませんでした。予選リーグを2勝1敗で、決勝トーナメントに進み、2回戦で敗れてしまいました。

技術的には、茨木チームの方が高いものを持っていましたが、肉体的・精神的な弱さを大事な試合でさらけ出してしまい、勝てる試合に敗れ、非常にくやしい思いをしました。

第4回目になるアメリカ最大の国際青少年サッカー大会USA杯には今年、アメリカから18州、海外から10か国の参加があり、計252チームで600以上の試合が行われました。

茨木からは3年続けて中学



決勝トーナメント2回戦での熱戦



会場にひるがえる参加国国旗



開会式で堂々の入場行進



すばらしいプレーに喝采

チーム主将 広田 潤

まず驚かされたのは、眼前に広がる20面ものサッカーコート。それ以上に、印象的だったのは、勝敗やチーム力の差を気にせず、心からプレーを楽しんでいることです。試合前後のにこやかな表情と握手、敵・味方の区別なくすばらしいプレーに送られる喝采、日本では得られなかったものです。

とにかく広大なアメリカ。僕達を迎えて下さったすべての人の心も、そうだと思います。

生チームが参加し、7月3日のドーム球場での開会式を皮切りに、翌日から北米の澄み透った青空の下、青い芝のフィールドに舞台を移し、熱戦をくりひろげました。

大会期間中は、アメリカ人家庭で生活し、異国での貴重な経験を積むとともに、ホストチームとは、ミ市市長を表敬訪問したり、デンマークとの3か国混成チームで交流試合を行うなど、親善大使としての役目を立派に果たし、12日、全員元気に帰国しました。



ギブスをはめて渡米

チーム選手 時実 祐志
アメリカに行く3日前に骨折して、ギブスをはめたまま、ミネアポリスに着きました。

ホームステイでは、いろいろと気を使ってもらいました。その中でも、ホストチームとの試合に出たいと、家の人に言うと、スポンジを腕に巻いてくれたことが、一番うれしいことでした。

このほかにも、いろいろ経験できて、とても良い訪問でした。

ミ市文化協会はボランティア団体

本協会が姉妹都市交流の窓口として、ミ市側に持っている中心的な団体は、ミネアポリス市・茨木市文化協会です。

その役員はもちろん、会員も来茨経験者が多く、本市にたくさんの友人達を持っています。また、本協会会員がミ市訪問の時、受入れの準備や手配をしてくれるのも彼らです。



ラーソン会長



スパージョン副会長



アレント副会長

同協会は1982年、国際的な人類愛を涵養することを目的として設立され、具体的には本市との文化・教育・スポーツ・芸術などの交流活動を奨励し、後援することによって、その目的を達成しようとするボランティア団体です。

〈会長〉

ロドニー・O・ラーソン氏

〈副会長〉

ペギー・スパージョンさん

〈副会長〉

ジャーメイン・D・アレント氏

日本語村開村

ミネアポリス市・茨木市文化協会が、コンコーディア大学の国際語学村を紹介しています。

ここは、1970年にノルウェー語村が開所して以来、すでに9つの語学村を備え、CBS放送でも、国内有数の語学講座として案内されましたが、これに今年、日本語村が加わりました。

そして、7月には協会会員の石瀬亜紀さんが、カウンセラーとして参加しました。

市民親善訪中団が新緑の安慶へ ますます広がる民間交流

友好都市・安慶市との民間レベルの交流を推し進めるため、市民親善訪中団が5月、新緑の安慶市を訪れました。

団員はお年寄りから中学生までと多士済々で、完成した市庁舎を表敬訪問した後、梧桐の繁る大通りや建築工事の盛んな新市街、古い商店の並ぶ歩行街をつぶさに見学しました。

また、答礼の夕食会では、市政府、市人民代表大会、それに安慶側の民間国際交流組織である対外友好協会など各種団体の代表と歓談し、安慶市との交流活動に新たな一頁を加えました。

市庁舎玄関の記念写真



夕食会では黄梅劇の歌もとび出して



大通りをおおう梧桐の並木



安慶市を訪れて



安慶のすがすがしい朝

市民親善訪中団団長 清野 耕作

カンカンチンチン

干干净净。清潔な、美しい

という中国の言葉に最もふさ

わしいのは、安慶の街ではなからうか。

今回の友好訪問で、いくつかの都市を見学できたが、安慶の早朝の街角は誠にすがすがしい。塵ひとつなく散水された街路を渡って行く初夏の風は、槐エンジュの花のかすかな香りが私達を別世界へ運んでくれたようであった。



父に聞かされた広大な中国

自治会連合会副会長 勝間 寿

訪中団に参加して、短い期

間でしたが、子供の頃、よく

父に聞かされていたとおりの中国の広大な土地と、中国人の心の大きさ、豊かさに接することができました。父は、10年近く、中国でお世話になっていましたが、その父の足跡も、少しはたどることができました。

関係者並びに団員の皆様に感謝いたします。



生涯忘れられない思い出

京都女子大学講師 湯口 三四

最後の晩餐会の席で、黄梅

劇副院長方承英女史のすばら

しい喉に耳を傾け、日本側もとの要望で、中国民謡を女史と手を取り合い、歌い始めると、若いウェイトレス嬢も仲間に入り、頬を紅らめながら黄梅劇の一節を唱ってくれました。会場は最高に盛り上がり、生涯忘れることのできない貴重な一時を過ごしました。



姉妹都市提携の調印式

オリーブの島小豆島

うちのみちよう

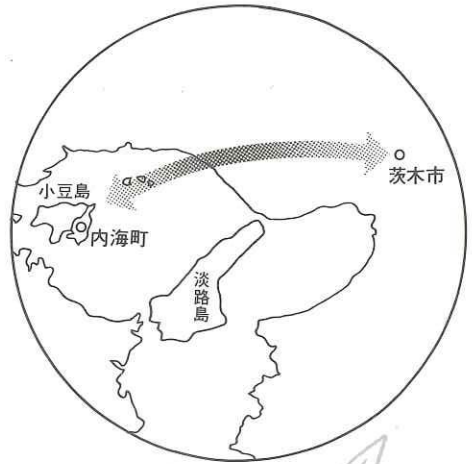
内海町と姉妹都市に

都市は整備されつつ、自然を破壊し、一方、地方では産業が衰微しながら、豊かな自然を残しています。そして、そこには、発想を転換して、環境の異なる土地との交流をはかり、経済的な面とともに、住民の生活や文化の質を、より高めようとする動きも生まれています。

本市でも、市民各層の間から、より自然を求める声——特に、海のある地方との交流を行い、市民の活動の場を広げてほしいという要望が、年を追って大きくなってきました。

そのため、市では、市制施行40周年の記念事業として、この問題に取り組み、瀬戸内海に浮かぶ小豆島の内海町を姉妹都市に選び、10月2日、調印式を行いました。

ご存知のように、小豆島は、オリーブの産地と



して、また、海水浴場や名勝寒霞溪で有名な島です。きっと、泳ぎや観光に行かれた協会会員の方も多いと思います。

内海町は、映画化された名作「二十四の瞳」の原作者壺井栄の出生地であり、彼女は名誉町民となっています。

海洋スポーツは、もともと盛んで、海水浴のほか、ウインドサーフィンやモーターボートの全国的なレースが開かれています。また、陸上では、サイクリングコースやハイキングコースを楽しむことができますし、昔からの霊場めぐりも親しまれています。

大阪城築城の時の石の切り出しは有名ですが、その残石とともに、現代の青年彫刻家達の名作が石彫公園を中心に、町内に飾られています。

姉妹都市活動室

姉妹都市活動室では、英語力および国際感覚向上のため、毎月2回、福祉文化会館内で、外国人ゲストを迎えて、講演会や研究会などを英語で行っています。

〈例会〉 木曜会 第1 木曜日午前10時
土曜会 第3 土曜日午後2時

〈会費(年額)〉 正会員 1,000円(18歳以上)
準会員 500円(中・高校生)

活動室紹介

青少年活動室

中・高校生が気軽に参加して、楽しみながら英語を学ぶ「青少年活動室」を開いています。外国人ゲストを迎えて、話したり、歌ったり、ゲームをしたり、学校の授業とは一風変わった英語の勉強会です。

活動は、月1回、原則として第4日曜日の午後2時から福祉文化会館で行っています。参加費は無料です。

安慶市、周辺の8県を加え 540万の大都市になる

本市からの友好訪中代表団が安慶市へ旅立とうとする直前に、安慶市外事弁公室から連絡がはいり、新しい安慶市に関する第1報が伝わりました。

それによりますと、安慶市は、新たに8つの県を管轄することになり、人口が42万人から540万人に、面積が540km²から15,100km²に拡大し、省都である合肥市より大きい、安徽省最大の都市となったとのことでした。また、それに伴い、市長及び党安慶市委員会書記の人事異動が行われています。

そして、つい最近帰国した同代表団の取材で、次のようなことがわかりました。



昭和63年9月2日付で公布された中国国務院の決定によると、安慶市を含む地域について行政区画の変更がなされた。すなわち、これまでの安慶市及び安慶地区が廃止され、新しい安慶市と池州地区が創設された。そして、新しい安慶市はこれまでの安慶市と安慶地区に含まれていた11の県のうち8つの県を管轄下におくことになり、池州地区は安慶地区の3つの県などを管轄することとなった。

この行政区画の変更のねらいは、より一層地方の経済発展を促進し、従来の都市と農村の分離型経済から、都市が周辺の農村を指導しつつ、地域の総合的・一体的な発展を促すことにある。また、地域における文化的中心として、安慶市の役割がさらに発揮されることになると説明されています。

茨木市における国際交流の足あと

—— 第10号以降の経過 ——

(1988年)

63. 5 「姉妹・友好都市ニュース」第10号発行
- 5 協会定期総会開催（市役所大会議室）
- 6 第5回協会ゴルフコンペ開催（茨木国際ゴルフ倶楽部）
- 6 I.M.社副社長デバノスキー氏一家4人来茨
- 6 茨木オークライオンズクラブ一行15人ミ市訪問
- 7 茨木市少年サッカーチーム一行21人ミ市訪問。USA杯に参加
- 7 ミネソタ州教育視察団一行7人来茨
- 7 茨木青年会議所主催「国際交流パーティー」開催
- 7 ミ市少年野球チーム親善訪問団一行32人来茨
- 7 協会顧問・加藤法瑛府議夫人英子さんミ市訪問
- 7 協会会員石瀬亜紀さんミ市訪問。国際語学村日本語村に参加
- 7 追手門学院大学生村上雄志君、交換留学でミネソタ州へ
- 8 市土木課長益田厚氏、都市計画課長段野清良氏、海外研修のためミ市訪問。約2週間、道路行政・都市開発などについて視察
- 10 市議会友好訪中代表団6人と市友好訪中代表団4人安慶市訪問
- 10 市議会議員3人、全国議長会米国・カナダ行政視察でミ市訪問



市役所を訪問のデ氏一家



教育視察団、養護学校で激励



日本語村の石瀬亜紀さん